

防災公共とは？

災害時に人命を守ることを最優先に「孤立集落をつくらない」という視点と「逃げる」という発想を重視した防災対策と危機管理体制の強化などのハード・ソフト一体となった取組

なぜこの取組なの？

平成20年度に発生した岩手・宮城内陸地震では、道路災害、治山災害 地すべり災害など各種危険箇所が同時に被災し、多くの孤立集落が発生した。

近年では、東日本大震災や平成26年8月の広島市豪雨など、想定を上回る災害が発生している。

地震・津波による被害



H23.3.11 東日本大震災

- 岩手、宮城、福島県の75箇所指定避難所が津波に襲われ浸水
- 自動車避難中に多数が犠牲に宮城、岩手の両県で車内から発見された遺体収容数677名

(写真提供:上平昭一氏)

大雨による被害



広島市 平成26年8月豪雨

- 人的被害 死者 74名 重軽傷者 44名
 - 物的被害 全壊 133軒
 - 半壊 122軒
 - 床上浸水 1301軒
 - 床下浸水 2828軒
- (平成26年9月19日現在)

構造物による『防災』では限界があるため、『減災』を行いつつ人命を守ることを最優先に、「逃げる」という発想を重視した対策が必要。

防災公共

「逃げるために」この取組ではどんなことするのか？

防災公共推進計画

それぞれの地域の実情に合った災害時でも安全な避難経路、避難場所の確保が重要。



青森県内全40市町村において、津波浸水想定区域及び孤立する恐れのある集落・避難場所が存在する424地区について検討した。

検討した地区の例

5釣屋浜地区 他 (孤立・津波浸水想定区域)

最適な避難場所の確保

- 二枚橋小学校、孫次郎間地区公民館は危険箇所区域外に立地しており安全
- 二枚橋地区防犯広場、大淵中央公園は一次避難場所である
- 二枚橋地区公民館は津波浸水想定区域内、漏雨下見直庫、漏雨下取内会館は大畑川の洪水浸水区域内のため不適

→ 二枚橋小学校、孫次郎間地区公民館は避難場所として適正
 プール管理棟は新たに一次避難場所として指定する

事業種別	危険箇所番号	名称	事業名
プール <td>1</td> <td>本</td> <td>プール管理棟</td>	1	本	プール管理棟

最適な避難経路の確保 (津波発生時の避難経路)

- 避難目標地点、避難場所への経路について
- ・避難目標地点を0箇所指定
- ・避難目標地点までと避難目標地点から避難場所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所がある

→ 避難経路の安全確保するため、下記対策を恒久的な対策として実施

事業種別	危険箇所番号	名称	事業名
急傾斜地	1-924	築	釣屋浜1号区域
急傾斜地	1-922	築	二枚橋区域急傾斜地対策事業【事業中】
急傾斜地	1-930	築	孫次郎間地区
急傾斜地	1-919	築	八幡瀬田5号地区
急傾斜地	1-915	築	湯下下見直庫
急傾斜地	2-742	築	八幡瀬田4号地区
山腹崩壊	208-50015	築	釣屋浜地区

孤立した際の物資の輸送手段の確保

- 大淵中央公園はヘリコプターの増設増設場として地域防災計画に指定されている

→ 孤立発生時にはヘリコプター(大淵中央公園)を利用

当地区の危険箇所対策(恒久的な対策)の完了後、孤立する恐れは解消する